

保護者の皆様へ

令和2年 6月23日

光塩幼稚園

園長 菱沼俊也

## 感染リスクを減らす為に 家庭で「マスクの着用」の指導と協力をお願い

本園では、6月より教育活動の再開をし三週間が過ぎましたが、新型コロナウイルス感染防止対策を保護者の皆様のご協力を得て続けてまいりました。ここに改めて保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、5月29日付文書でも記載しましたが、新型コロナウイルス感染症については、長い期間、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければならないようです。

昔、猛威をふるったスペイン風邪（インフルエンザ）の時同様に、このコロナウイルス自体も変異を繰り返し、更に強毒性にもなる事も考えられ、今後も感染防止策を継続しながらの生活が求められております。

しかし、ここ数日間、本園ではマスク着用を忘れて登園する園児やお話する際にマスクを外す園児が見受けられております。

確かに、マスク着用だけでは、本人の感染は防げないのですが、仮に自分自身が感染し無症状の場合は周囲に対しての飛沫分散量を減らす効果は期待できます。

そこで、保護者の皆様には、尚一層のご協力を賜り、ご家庭の皆様も油断せずに「新しい生活様式」を継続されて園児たちを守っていただけるようお願い申し上げます。

※無症状感染者から感染は40%というデータ研究結果もありますし、80%の方が軽症で回復するとも報告されていますが、高齢者および基礎疾患の有る方が感染しますと重症化したり、亡くなってしまう可能性が高いという事をもう一度再認識して頂きますようお願いいたします。

(添付資料)

緊急事態宣言以降、全国で新型コロナの症例は減少していますが、まだまだ油断できません。どのような症状があれば新型コロナを疑い病院を受診すれば良いのでしょうか。新型コロナの典型的な症状、病院を受診する目安や注意点などについてまとめました。

## 新型コロナウイルス感染症の典型的な症状

新型コロナウイルス感染症の初期症状は風邪やインフルエンザと似ています。

風邪は、微熱を含む発熱、鼻水、鼻詰まり、ノドの痛み、咳などの症状がみられることが多く、またインフルエンザも風邪と似ていますが、風邪に比べると高熱が出ることが多く、頭痛や全身の関節痛・筋肉痛を伴うことがあります。

新型コロナと風邪、インフルエンザの症状とを比べると、以下の図のようになります。

症状	新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だらだら続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱 	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳 	◎	◎	◎
咽頭痛 	○	◎	◎
息切れ 	○	×	×
だるさ 	○	○	◎
関節痛 筋肉痛 	○	×	◎
頭痛 	○	◎	◎
鼻水 	△	◎	○
下痢 	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ 	×	◎	×

◎:頻度高い、○:よくある、  
△:ときどきある、×:稀  
また、新型コロナでは典型的  
には

- ・発熱
- ・咳
- ・だるさ
- ・食欲低下
- ・息切れ
- ・痰
- ・筋肉痛

などの症状の頻度が高いとされます。

新型コロナと風邪、インフルエンザとの症状の比較(オーストラリア政府啓発資料より)